

三菱自動車、ピックアップトラック『トライトン』で国内ラリーに参戦する 2 チームを技術支援

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、北海道の山間部を舞台としてピックアップトラックやSUV など幅広いクラスの車両で競われる XCR スプリントカップ北海道に、ピックアップトラック『トライトン』で出場する「圭 rallyproject」及び「FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES」の2チームに対して参戦サポートと技術支援を行います。今年のXCR スプリントカップ北海道は全6戦で、第3戦のARK ラリー・カムイ（7月4～6日、ニセコ町）、第4戦のRALLY HOKKAIDO（9月5～7日、帯広～陸別）は、日本自動車連盟（JAF）が主催する全日本ラリー選手権との併催となり、有力な選手や様々な車種が参戦することから注目が集まります。



「圭 rallyproject」
竹岡圭代表、参戦車両



「FLEX SHOW AIKAWA Racing
with TOYO TIRES」
哀川翔総監督、参戦車両

モータージャーナリストの竹岡圭氏が率い自らドライバーとなる「圭 rallyproject」、俳優の哀川翔氏が監督を務め、プロドリフトドライバーの川畑真人氏がハンドルを握る「FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES」は全日本ラリー選手権との併催となる第3戦と第4戦に参戦します。いずれも山間部の林道や砂利道などの未舗装路で競われるハイスピードのラリーであり、操縦性や走破性、耐久信頼性が問われます。三菱自動車はアセアン最大規模のクロスカンントリーラリーであるアジアクロスカンントリーラリー（AXCR）に2022年より参戦し、『トライトン』の将来の商品力向上のための技術検証を実施してきました。そこで得られたノウハウを活用し、上記2チームに対し、エンジンレスポンスの向上や、オートマチックトランスミッションのシフトパターン最適化などの技術支援を行い、上位入賞をサポートします。

XCR スプリントカップ北海道ホームページ
URL：<http://www.xcr-h.com/>

圭 rallyproject 竹岡圭代表のコメント

「いくつになってもチャレンジはできる!」「モータースポーツを日本の文化にしたい」この2つのスローガンを掲げて、2016年秋に「圭 rallyproject」を立ち上げ、2017年から全日本ラリー選手権に参戦してきました。そして昨年2024年に「いつかは三菱車でラリーを!」という夢が実現し、三菱自動車様や TOYO TIRE 様をはじめ、多くの方々にご協力をいただいたお陰で、XC2 クラスで ARK ラリー・カムイは3位、RALLY HOKKAIDO では4位に入賞することができました。今年は、モモトン（『トライトン』圭 rallyproject 仕様車）の戦闘力がアップされたので、これまでの参戦経験をフル活用し、更に上位を目指して活動してまいります。温かい応援をよろしくお願い申し上げます。

URL : <https://kei-rally.com/>

FLEX SHOW AIKAWA Racing 哀川翔総監督のコメント

昨年三菱『トライトン』を XCR スプリントカップ北海道に投入しましたが新型車ということで改造パーツに限りがあり、思うようなラリーカーには仕上がっていませんでした。しかし今年は多くの方々のサポートがあり大幅に車両が改良されスムーズで走りやすいマシンに仕上がったことを確認しました。テストで川畑選手が操るマシンに同乗しましたが、川畑選手の上手さも相まって特にコーナー進入の滑らかさや、エンジンパワーやトルク感を感じることができました。この三菱『トライトン』のラリーカーとしての出来ならば自分も運転してみたくなるほどです。今から XCR スプリントカップ北海道の参戦、特に RALLY HOKKAIDO は昨年のリベンジを果たすのが楽しみです。川畑くんの実力なら完走さえすれば TOP を取れると思っていますので期待してください!! よろしく!

URL : http://www.magicaltv.net/flex_racing/

■1 トンピックアップトラック『トライトン』

『トライトン』は、1978年に発売された『フォルテ』をルーツとする1トンピックアップトラックで、以来45年間で5世代にわたり約570万台を生産、世界約150カ国で販売してきた三菱自動車の世界戦略車です。現行『トライトン』は「Power for Adventure」という商品コンセプトのもとで開発を進め、内外装デザインからシャシー、ラダーフレーム、エンジンなどを一新し、2023年7月より生産工場のあるタイで販売を開始。2024年2月に日本に導入し、世界100カ国へ順次投入しています。マリンスポーツやウィンタースポーツ、キャンプといったアウトドアアクティビティでの可能性を広げ、お客様の冒険心にお応えする、三菱自動車らしさを象徴するモデルのひとつです。また、2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。

以上